

実験 1.B 実験台本

これから実験を始めます。

[席順の決定]

(2人が同じテーブルに隣り合わせで座るようにする)

まず席順を決めます。順番に前に来て、くじを引いてください。引いた番号の席がどこであるかは黒板に書いてある通りです。自分の席が決まったらその席に移動してください。

(くじを作成するのが面倒な場合、トランプのカードを使用する。各数字を席番号とする。黒のカードが北側、赤のカードが南側の住民とする。北はテーブルの左側、南は右側に座らせる)

[実験説明書の配布]

(実験説明書を、該当の席の参加者に配布する)

それでは、今日の実験の説明書を配布します。配られたら、実験記録用紙の「あなたの役割」欄のうち、自分の役割に当たるほうに丸をしてください。

[実験説明]

(本書付録の実験説明書を読み上げる)

[実験の開始]

それでは実験を開始します。

各自、実験記録用紙の表 1B.2 にある「魚を獲ることに割り当てる時間」および「果物を採ることに割り当てる時間」欄に、合計 20 時間になるよう時間を割り当ててください。それから表 1B.1 を参照しながら、「獲れた魚の数」および「採れた果物の数」を計算して記入してください。他の欄はまだ記入しないでください。

(全員が記入を終えるまで待つ)

それでは、これから各ペアでの取引をしてもらいます。制限時間は 2 分間です。

(時計やストップウォッチで時間を測りながら、適宜時間経過を教える)

では、これで取引終了です。実験記録用紙の表 1B.2 にある「交換後の魚の数」および「交換後の果物の数」欄に取引後の数値を記入してください。この数値のうち、小さい方の値を「養える人数」欄に記入してください。

これで 1 回目の実験は終了です。

(必要があれば、実験説明書兼実験記録用紙をもう一度配って 2 回目以降の実験を行う)

実験 3.A 実験台本

これから実験を始めます。

[席順の決定]

まず席順を決めます。順番に前に来て、くじを引いて下さい。引いた番号の席がどこに書いてあるかは黒板に書いてあるとおりです。自分の席が決まったら荷物を持ってその席に移動して下さい。

(くじを作成するのが面倒な場合、トランプのカードを使用する。買い手はダイヤとハート、売り手はスペードとクラブとする。ID はダイヤの 1 から 13 を B1-B13, ハートの 1 から 13 を B14-B26 とし、スペードの 1 から 13 を S1-S13、クラブの 1 から 13 を S14-S26 とする。)

[実験説明書の配布]

(実験説明書を、該当の席の参加者に配布する)

それでは、今日の実験の説明書を配布します。配られたら、実験記録用紙の『あなたの役割』欄のうち、自分の役割に当たる方に○をして下さい。また、役割に合わせて費用か予算を選び、○をして下さい。最後に自分の費用または予算を記入して下さい。

[実験説明]

後述する実験説明書を読み上げる。

[実験の開始]

それでは実験を開始します。

各自席を立て、買い手の人は売り手を探し、売り手の人は買い手を探して下さい。買い手と売り手が出会った後は二人で価格交渉をして下さい。交渉ができれば教員の所に来て、妥結した価格を知らせて下さい。その後席に戻り、記録用紙に価格を記入し、各自の利益を計算して下さい。

それでは取引を始めます。制限時間は 3 分間です。

(時計やストップウォッチで時間を計りながら、適宜時間経過を教える)

では、これで取引終了です。計算を確認した後、黒板(ホワイトボード)に書かれてある妥結価格を眺めて、次の取引の参考にして下さい。

(以下同様にして、2 回目以降の取引を行う)

実験 4.B 実験台本

これから実験を始めます。

[席順の決定]

まず席順を決めます。順番に前に来て、くじを引いて下さい。引いた番号の席がどこに書いてあるかは黒板に書いてあるとおりです。自分の席が決まったら荷物を持ってその席に移動して下さい。

(くじを作成するのが面倒な場合、トランプのカードを使用する。ID はダイヤの 1 から 13 を A1-A13, ハートの 1 から 13 を A14-A26 とし、スペードの 1 から 13 を B1-B13、クラブの 1 から 13 を B14-B26 とする。)

[実験説明書の配布]

(実験説明書を、該当の席の参加者に配布する)

それでは、今日の実験の説明書を配布します。配られたら、氏名、学籍番号、ID を記入して下さい。

[実験説明]

後述する実験説明書を読み上げる。

[実験の開始]

それでは実験を開始します。

最初の数回は、競争相手がこの部屋にいる誰かで、毎回ランダムに選ばれます。皆さんは、競争相手の生産量を予想しながら自分の生産量を選択して下さい。生産量の決定は 2 分以内にして下さい。それでは選択を始めます。

(時計やストップウォッチで時間を計りながら、適宜時間経過を教える)

(2 分後)記入用紙を回収します。競争相手をランダムに決め、私が競争相手の生産量を記入しますので、その間静かに待っていて下さい。

記入が終わりましたので、皆さんに記入用紙を返却します。これで 1 回目の実験は終了です。

(以下同様にして、2 回目以降の実験を行う)

(数回の実験が終わったら)では、最後の数回は競争相手が変わらない設定で価格選択を行います。皆さんは、競争相手の価格設定を予想しながら自分の販売価格を選択して下さい。価格決定は 2 分以内にして下さい。それでは選択を始めます。

(時計やストップウォッチで時間を計りながら、適宜時間経過を教える)

(2 分後)記入用紙を回収します。競争相手はこれから最後まで同じ人です。私が競争の結果を記入しますので、その間静かに待っていて下さい。

記入が終わりましたので、皆さんに記入用紙を返却します。これで x 回目の実験は終了です。

(以下同様にして、最終回まで実験を行う)

実験 5.A 実験台本

これから実験を始めます。

[席順の決定]

まず席順を決めます。順番に前に来て、くじを引いて下さい。引いた番号の席がどこに書いてあるかは黒板に書いてあるとおりです。自分の席が決まったら荷物を持ってその席に移動して下さい。

(くじを作成するのが面倒な場合、トランプのカードを使用する。ID はダイヤの 1 から 13 を A1-A13, ハートの 1 から 13 を A14-A26 とし、スペードの 1 から 13 を B1-B13、クラブの 1 から 13 を B14-B26 とする。)

[実験説明書の配布]

(実験説明書を、該当の席の参加者に配布する)

それでは、今日の実験の説明書を配布します。配られたら、実験記録用紙に氏名・学籍番号を記入して下さい。

[実験説明]

後述する実験説明書を読み上げる。

[実験の開始]

それでは実験を開始します。

最初の数回は、競争相手がこの部屋にいる誰かで、毎回ランダムに選ばれます。皆さんは、競争相手の価格設定を予想しながら自分の販売価格を選択して下さい。価格決定は 2 分以内にして下さい。それでは選択を始めます。

(時計やストップウォッチで時間を計りながら、適宜時間経過を教える)

(2 分後)記入用紙を回収します。競争相手をランダムに決め、私が競争の結果を記入しますので、その間静かに待っていて下さい。

記入が終わりましたので、皆さんに記入用紙を返却します。価格とあなたの利益を計算し、記入して下さい。これで 1 回目の実験は終了です。

(以下同様にして、2 回目以降の実験を行う)

(数回の実験が終わったら)では、最後の数回は競争相手が変わらない設定で生産量の選択を行います。皆さんは、競争相手の生産量を予想しながら自分の生産量を選択して下さい。生産量の決定は 2 分以内にして下さい。それでは選択を始めます。

(時計やストップウォッチで時間を計りながら、適宜時間経過を教える)

(2 分後)記入用紙を回収します。競争相手はこれから最後まで同じ人です。私が競争の結果を記入しますので、その間静かに待っていて下さい。

記入が終わりましたので、皆さんに記入用紙を返却します。価格とあなたの利益を計算し、記入して下さい。これで x 回目の実験は終了です。

(以下同様にして、最終回まで実験を行う)

実験 6.A 実験台本

これから実験を始めます。

[実験説明書および記録用紙の配布]

それでは、今日の実験の説明書と記録用紙を配布します。

[実験の説明と回答：タスク 1～タスク 3]

(実験説明書を読み上げ、それぞれの問いに回答させる。)

[実験の説明と回答：タスク 4]

このタスクでは、5人～6人からなるグループを作ります。私が指定した通りにグループを作ってください。

(近くに座っている5人～6人を1つのグループに指定する。)

グループ全員のタスク 1 からタスク 3 までの回答を互いに見せ合い、それぞれの商品の需要を集計して、その集計結果をタスク 4 記録用紙 A、タスク 4 記録用紙 B、タスク 4 記録用紙 C に記入してください。

次に、タスク 4 記録用紙 A とタスク 4 記録用紙 B に基づいて、図 6.8 に需要曲線を描いてください。

次に、タスク 4 記録用紙 A とタスク 4 記録用紙 B に基づいて、チョコレートの需要の価格弾力性を計算してください。計算方法は説明書に書いてあるとおりです。必要に応じて教科書第 6 章を参考にしてください。

次に、タスク 4 記録用紙 A とタスク 4 記録用紙 C に基づいて、チョコレートの需要の所得弾力性を計算してください。計算方法は説明書に書いてあるとおりです。必要に応じて教科書第 6 章を参考にしてください。

次に、タスク 4 記録用紙 A とタスク 4 記録用紙 B に基づいて、チョコレートとクッキーの需要の交差価格弾力性を計算してください。計算方法は説明書に書いてあるとおりです。必要に応じて教科書第 6 章を参考にしてください。

実験 6.B 実験台本

これから実験を始めます。

[実験説明書および記録用紙の配布]

それでは、今日の実験の説明書と記録用紙を配布します。

[実験の説明と回答]

この実験では、説明書に記載されている問題について、1人ずつ回答してもらいます。

(実験説明書を読み上げ、それぞれの問いに回答させる。)

実験 7A, 7B, 7C 実験台本

これから実験を始めます。

[実験説明書および記録用紙の配布]

それでは、今日の実験の説明書と記録用紙を配布します。

[実験の説明と回答]

(実験説明書を読み上げ、それぞれの問いに回答させる。)

[回答の集計]

皆さんの回答を集計します。該当する選択肢を選んだ人は手を上げてください。

(各選択肢を選んだ被験者に手をあげてもらい、人数を数えて、各選択肢の集計結果を黒板に書く。)

皆さんの選択の集計結果は、黒板に書いたようになりました。この集計結果を記録用紙の表に書き写してください。

(集計結果を確認し、本実験の結果と本文に記載されている過去の同様の実験結果とを比較する。)

実験 8.A 実験台本

これから実験を始めます。

[実験説明書および利得表の配布]

それでは、今日の実験の説明書と記録用紙を配布します。

[実験の説明と回答]

(実験説明書を読み上げ、それぞれの問いに回答させる。)

[回答の集計]

皆さんの回答を集計します。該当する選択肢を選んだ人は手を上げてください。

(各選択肢を選んだ被験者に手をあげてもらおう。人数を数えて、各選択肢の集計結果を黒板に書く。)

皆さんの選択の集計結果は、黒板に書いたようになりました。この集計結果を記録用紙の表に書き写してください。

実験 8.B 実験台本

これから実験を始めます。

[実験説明書および利得表の配布]

それでは、今日の実験の説明書と記録用紙を配布します。

[実験説明]

(実験説明書を読み上げ、それぞれの問いに回答させる。)

(回答終了後、割引率を計算させる)

問 1 から問 4 までの回答が終わったら、自分の割引率を計算してください。割引率は説明書に書いてある式に自分の回答した将来受け取る賞金額を代入することによって計算できます。また、 t は賞金を受け取る時点です。 t の値は、問 1 では、0.5、問 2 では 1、問 3 では 2、問 4 では 4 となります。計算が終わったら、割引率を表に記入してください。

実験 11.A・11.B 実験台本

これから実験を始めます。

[席順の決定]

まず席順を決めます。順番に前に来て、くじを引いて下さい。引いた番号の席がどこに書いてあるかは黒板に書いてあるとおりです。自分の席が決まったら荷物を持ってその席に移動して下さい。

(くじを作成するのが面倒な場合、トランプのカードを使用する。ID はダイヤの 1 から 13 を A1-A13, ハートの 1 から 13 を A14-A26 とし、スペードの 1 から 13 を B1-B13、クラブの 1 から 13 を B14-B26 とする。)

[実験説明書の配布]

(実験説明書を、該当の席の参加者に配布する)

それでは、今日の実験の説明書と予算カードを配布します。配られたら、氏名、学籍番号、ID、予算カードの値を記入して下さい。

[実験説明]

(本書付録の実験説明書を読み上げる)

[実験の開始]

それでは実験を開始します。記録用紙に入札額を記入して提出して下さい。この時、予算カードも一緒に提出して下さい。教員が入札額を確認し、最も高い入札額を記入した人を選びます。その人が落札者です。落札者の方には記録用紙の該当欄に○をつけて返却します。それ以外の方は該当欄に何も記入されていないまま返却します。返却するのは記録用紙のみです。

返却されましたら記録用紙を見て、利益を記入して下さい。

それでは入札額の記入を開始します。2 分以内に入札額を決定して下さい。それでは始めます。

(時計やストップウォッチで時間を計りながら、適宜時間経過を教える)

(2 分後)記入用紙を回収します。私が落札者を探しますので、その間静かに待っていて下さい。

記入が終わりましたので、皆さんに記入用紙を返却します。これで 1 回目の実験は終了です。

(以下同様にして、2 回目以降の実験を行う。2 回目以降は毎回予算カードの配布と回収を行う)

実験 12A 実験台本

(9 人のグループで実験を行う)

これから実験を始めます。

[ID の決定]

(9 人が同じテーブルに座るか、互いに近い席に座るようにする)

まず ID を決めます。順番に前に来て、くじを引いてください。引いた番号の席がどこであるかは黒板に書いてある通りです。自分の席が決まったら、その席に移動してください。

[実験説明書および利得表の配布]

それでは、今日の実験の説明書と記録用紙を配布します。

(はじめに与えられる証券の数と保有資金については、証券が多い被験者には資金が少なく、証券が少ない被験者には資金が多くなるようにしておく。たとえば、証券数と保有資金の額の組合せを 3 通り用意する場合、(証券数 : 3, 資金 : 250)、(証券数 : 2, 資金 : 600)、(証券数 : 1, 資金 : 1000)などとする。そのうえで、被験者 3 人ずつがそれぞれの組合せを持つように割り当て、その組合せを記録用紙第 0 行目にあらかじめ記入しておく。)

(記録用紙は、各被験者 15 期分 (15 枚の記録用紙) を 1 セットとして、ホチキス止めしておく。)

[実験説明]

(実験説明書を読み上げる)

[取引の開始]

それでは実験を開始します。資産を買いたい人、資産を売りたい人がいれば、手を上げてください。

(以後、実験説明書の通り 7 分間にわたって取引を行う。)

(取引開始 5 分、6 分、6 分 30 秒後に残り時間のアナウンスを以下のように行う。)

取引開始から○分が経ちました。後△分□秒で取引は終了します。

[取引の終了]

(取引開始から 7 分後に以下のアナウンスを行う。)

取引開始から 7 分が経ちました。ここで第○期の取引を終了します。

[配当の決定]

(被験者に見えるように抽選を行う)

この期に受け取る配当の抽選を行います。実験主催者が箱の中に 4 つのボールを入れます。4 つのボールにはそれぞれ 0、8、28、60 と書かれていることを確認してください。実験主催者は、その箱の中から 1 つのボールを取り出します。△□と書かれたボールが取り出されました。この額がこの期における配当となります。この額を記録用紙の 19 行目に記入してください。

[記録用紙への記入]

この期の終了時点で保有していた証券数を 20 行目に記入してください。

次に、(この期の終わりに保有していた証券の数) × (抽選で決まった配当額) を計算し、この期の配当額合計を 21 行目に記入してください。

次に、(この期の取引後に残った保有資金) + (この期の配当額合計) を計算し、この期の終わりに保有していた資金を 22 行目に記入してください。

以上の記入が終わったら、第 20 行目「この期の終わりに保有していた証券の数」と第 22 行目「この期の終わりに保有していた資金」は次のページの記録用紙第 0 行目に書き写してください。

([取引の開始]～[記録用紙への記入]を繰り返すことによって、第 2 期以降の実験を行う。第 15 期の終了後、以下のアナウンスをする。)

この年の取引をもって本実験は終了します。この期の記録用紙第 22 行目の「この期の終わりに保有していた資金」がこの実験においてあなたが得た収入になります。

実験 12.B 実験台本

[ID の決定]

(6 人が同じテーブルに座るか、互いに近い席に座るようにする)

まず ID を決めます。順番に前に来て、くじを引いてください。引いた番号の席がどこであるかは黒板に書いてある通りです。自分の席が決まったら、その席に移動してください。

[実験説明書の配布]

それでは、今日の実験説明書を配布します。

[実験説明]

(実験説明書を読み上げる)

[記録用紙の配布]

(6 人×実施予定ラウンド数分の記録用紙を準備しておく。)

それでは、このラウンドで使用する記録用紙を配布します。

[箱の抽選]

箱 A には白玉 2 個と赤玉 1 個、箱 B には白玉 1 個と赤玉 2 個が入っています。

(箱に入っている玉を被験者に見せる)

この実験では、箱 A か箱 B のどちらかが使われます。では、このラウンドにおける箱を決定します。実験主催者がさいころを振ることによってどちらの箱が使われるかを決めます。さいころで奇数が出たら箱 A が選ばれ、偶数が出たら箱 B が選ばれます。では行います。

(抽選は被験者から見えないところで行う)

このラウンドで使う箱はこの箱になりました。

[箱の予測：1 人目]

では、みなさんには箱 A と箱 B のどちらの箱が選ばれたについての予測を 1 人ずつ順番にしてもらいます。実験主催者が皆さんの席に行きますので、指示に従ってください。

(1 番目に予測を行う被験者の席へ行く)

では、「シグナル」を見てもらいます。このラウンドで使う箱から他の人に見えないように 1 個のボールを引いてください。ボールの色を確認して記録用紙の「シグナル」の欄に○をつけてください。また、引いたボールは箱の中に戻してください。では、このラウンドで使う箱が箱 A か箱 B かを予測して、記録用紙の「あなたの予想」の欄に○をつけてください。(○が付けられた後、実験主催者は記録用紙を回収する。)

[箱の予測：2人目以降]

(予測を行う被験者の席へ行く)

では、「シグナル」を見てもらいます。このラウンドで使う箱から他の人に見えないように1個のボールを引いてください。ボールの色を確認して記録用紙の「シグナル」の欄に○をつけてください。また、引いたボールは箱の中に戻してください。

次に、他の人の予測を見てもらいます。実験主催者が、これまでに提出された他の人の予測を記録用紙に記入します。(実験主催者は回収した記録用紙を確認し、過去に予測をおこなった被験者の予測を当該被験者の記録用紙「他の人の予測」の欄に書き写す。)

では、このラウンドで使う箱が箱Aか箱Bかを予測して、記録用紙の「あなたの予想」の欄に○をつけてください。(○が付けられた後、実験主催者は記録用紙を回収する。)

([箱の予測：2人目以降]を繰り返し、6番目に予測を行う者が予測を提出した時点でこのラウンドが終了する。)

[箱の開示]

6人全員が予測を提出しましたので、このラウンドは終了しました。では、このラウンドで実際に選ばれた箱がどちらであったかを確認めます。箱の中身を出してみると、白玉が○個、赤玉が△個でした。つまり、このラウンドで選ばれていたのは箱×でした。(箱から全てのボールを取り出す。そのうえでどちらの箱が選ばれていたのかを全員に明らかにする。)

([記録用紙の配布]～[箱の開示]を○ラウンド繰り返す)

(第○ラウンドの実験終了後、実験主催者は、各ラウンドにおける各被験者の予測を黒板に書いて発表する。実際に情報カスケードと合理的群衆行動が起こったかどうかについて受講者とともに確認するとよいだろう。)

実験 13.A 実験台本

(12名のグループで実験を行う)

これから実験を始めます。

[IDの決定]

まず ID を決めます。順番に前に来て、くじを引いてください。引いた番号の席がどこであるかは黒板に書いてある通りです。自分の席が決まったら、その席に移動してください。

[実験説明書および利得表の配布]

それでは、今日の実験で使用する説明書と利得表を配布します。

[実験説明]

(実験説明書を読み上げる)

[タイプおよびヒント・カードの種類の決定]

この実験におけるあなたのタイプおよびあなたに与えられるヒント・カードの種類の決定をします。実験主催者が持っているカードの中から 1 枚引いてください。このカードによってあなたのタイプとヒント・カードの種類が決まります。

カードに書いてある記号が実験におけるあなたのタイプです。タイプは複数あり、決まったタイプによってあなたがもらう可能性のある X 配当と Y 配当の額が決まります。タイプは実験を通じて変わらないため、あなたがもらう可能性のある配当額は每期同じです。しかし、あなたと異なるタイプの人はあなたとは異なる配当額を受け取る可能性があります。

また、あなたがこの実験を通してどのような「ヒント・カード」を受け取ることができるかについても、この抽選で決まります。この抽選において、もしあなたが引いた札に「情報ありヒント・カード」と書いてあれば、あなたはすべての期でどちらの配当が実際に支払われるかについて知らされます (X 配当が支払われる期には、あなたは X 配当と記載されたヒント・カードを受け取ります。Y 配当が支払われる期には、あなたは Y 配当と記載されたヒント・カードを受け取ります。)。しかし、もしあなたが引いた札に「情報なしヒント・カード」と書いてあれば、あなたはすべての期でどちらの配当が支払われるかについて知らされません (あなたが各期受け取るヒント・カードには何も書いてありません。)

(I, II, III というタイプを記入したカードを 4 枚ずつ、計 12 枚用意する。4 枚の各タイプのカードのうち 2 枚には「情報ありヒント・カード」と記入し、残りの 2 枚には「情報なしヒント・カード」と記入する。このカードの束から 1 枚のカードを引くことによって、被験者のタイプおよびヒント・カードの種類が決まる。実験監督者は、各被験者の ID に対す

るタイプおよびヒント・カードの種類についてメモしておく。また、どの被験者がどのタイプになったか等についての情報は、被験者間で互いに知られないように注意を促す。）

注意：あなたがどのタイプになったか、また、あなたがどのヒント・カードを受け取ることになったかについて、他の人に教えてはいけません。

[記録用紙の配布]

（A 期における証券および資金の初期保有については、全被験者同じでよい。たとえば証券の数を 2、資金を 10000 とする場合、記録用紙の第 0 行目の「保有証券数」と「保有資金」の欄にそれぞれ 2、10000 と記入しておく。）

記録用紙を配布します。

（記録用紙には、あらかじめ各タイプの「証券 1 つあたり配当額」の欄に X 配当と Y 配当を記入しておく。なお、各タイプの被験者への配当額は以下の表の通りである。）

表：各タイプの配当額

タイプ	配当額	
	X 配当	Y 配当
I	400	100
II	300	150
III	125	175

（記録用紙の配布時には各被験者のタイプを確認し、その被験者のタイプに応じた記録用紙を配布する。）

[配当の決定]

いまから、この期にどの配当が支払われるか抽選を行います。箱の中には 1～10 までの数字が書かれたボールが入っています。この中から 1 個のボールを引きます。引かれたボールに書いてある数字が 1～4 の場合は X 配当が支払われます。引かれたボールに書いてある数字が 5～10 の場合は Y 配当が支払われます。すなわち、X 配当となる確率は 40%、Y 配当となる確率は 60%です。

（ボールを引いて抽選を行う。抽選は被験者から見えないように行う。）

[ヒント・カードの配布]

「配当の決定」で行われた抽選の結果に基づいたヒント・カードを配布します。

（「情報なしヒント・カード」を引いた 6 名には空白のヒント・カードを、残りの 6 名にはどちらの配当（X 配当または Y 配当）が支払われるかについて書かれたヒント・カードを配布する。そのうえで、以下の指示を与える。）

ヒント・カードが空白ではない人は、ヒント・カードに記載されている内容を確認し、第 19 行目左列に記載されている「この期にもらえる証券 1 つあたり配当」の欄で、X また

はYのどちらかに○をつけてください。そのあと、記録用紙の第18行目と第19行目を境にして、山折りにしてください。この期における以降の取引で、記録用紙第19行目以降を他人に見せないでください。

ヒント・カードが空白の人は、「この期にもらえる証券1つあたり配当」の欄の「？」に○をつけてください。そのあと、記録用紙の第18行目と第19行目を境にして、山折りにしてください。この期における以降の取引で、記録用紙第19行目以降を他人に見せないでください。

[取引の開始]

それでは取引を開始します。資産を買いたい人、資産を売りたい人がいれば、手を上げてください。

(以後、実験説明書の通り7分間にわたって取引を行う。)

(取引開始5分、6分、6分30秒後に残り時間のアナウンスを以下のように行う。)

取引開始から○分が経ちました。後△分□秒で取引は終了します。

[取引の終了]

(取引開始から7分後に以下のアナウンスを行う。)

取引開始から7分が経ちました。ここでこの期の取引を終了します。記録用紙で1証券あたりの配当と保有証券数を確認して、「この期における配当の額」を計算してください。その額と「この期における資金の額」を足し合わせて、「この期の利得」を計算してください。この期の利得は記録用紙の第21行目に記入してください。

[利得表への記入]

記録用紙第21行目の「この期の利得」を別紙の利得表の該当する期の「利得」の欄に書き写してください。

([記録用紙の配布]～[利得表への記入]を繰り返すことにより、各期の取引を行う。あらかじめ決めておいた期数の取引が終了した時点で実験が終了する。利得表の各期の利得の合計を利得表第15行目の「総収入」の欄に記入させる。)

以上で、第○期の取引が終了しました。この期の取引をもって本実験は終了します。利得表の各期の利得を足し合わせ、第15行目の利得合計の欄にこの実験から得られた利得の合計を記入してください。

実験 13.B 実験台本

(9名のグループで実験を行う)

これから実験を始めます。

[IDの決定]

まず ID を決めます。順番に前に来て、くじを引いてください。引いた番号の席がどこであるかは黒板に書いてあります。自分の席が決まったら、その席に移動してください。

[実験説明書および利得表の配布]

それでは、今日の実験で使用する説明書および利得表を配布します。

[実験説明]

(実験説明書を読み上げる)

[タイプの決定]

この実験におけるあなたのタイプの決定をします。実験主催者が持っているカードから 1 枚引いてください。このカードに書いてある記号が実験におけるあなたのタイプです。タイプは複数あり、決まったタイプによってあなたへの毎期の配当額が決まります。タイプは実験を通じて変わらないため、あなたにとっての証券 1 つあたりの配当額は毎年同じです。しかし、あなたと異なるタイプの人とは異なる配当額を受け取る可能性があります。

(I, II, III と記入した 9 枚のカードを用意して、ID を決める。また、タイプ I、タイプ II、タイプ III が 3 人ずつになるようにする。)

[記録用紙の配布]

タイプの抽選がおわったら、記録用紙を配布します。

表：タイプ別の配当額

	配当額	
	A 期	B 期
I	300	50
II	50	300
III	150	250

(記録用紙には、「1 証券あたりの配当」の欄に上記の表のとおり各タイプに応じた配当額

を記入しておく。)

(A 期における証券および資金の初期保有については、全被験者同じでよい。たとえば証券の数を 2、資金を 10000 とする場合、記録用紙の A 期第 0 行目の「証券の数」と「資金」の欄にそれぞれ 2、10000 と記入しておく。)

(以上の準備をしたうえで、記録用紙の配布時には各被験者のタイプを確認し、その被験者のタイプに応じた記録用紙を配布する。)

このあと行う証券の取引では、記録用紙に記載してある「1 証券あたりの配当」を他人に見せないでください。また、他人の「1 証券あたりの配当」を見てもいけません。記録用紙を受け取ったら、記録用紙の第 18 行目と第 19 行目を境にして山折りにし、第 19 行目の配当額が他人に見えないようにしてください。取引中に第 19 行目の配当額を確認したい場合は、他人に見えないように注意してください。

(各被験者の配当額を他人に知らせないように注意を促す。)

[取引の開始]

それでは取引を開始します。資産を買いたい人、資産を売りたい人がいれば、手を上げてください。

(以後、実験説明書の通り 7 分間にわたって取引を行う。)

(取引開始 5 分、6 分、6 分 30 秒後に残り時間のアナウンスを以下のように行う。)

取引開始から○分が経ちました。後△分□秒で取引は終了します。

[取引の終了]

(取引開始から 7 分後に以下のアナウンスを行う。)

取引開始から 7 分が経ちました。ここでこの期の取引を終了します。1 証券あたりの配当と保有する証券数から証券からの配当の合計を計算してください。その額を「配当からの利得」に記入してください。次に「期末の利得」を記入します。期末に保有していた証券の数を第 20 行目の「証券の数」の欄に記入します。また、(配当からの利得+期末に保有していた資金)を計算し、その額を第 20 行目「保有資金」の欄に記入します。

(A 期終了時のみ以下のアナウンスを行う。)

A 期の期末に保有していた証券と資金は、B 期に持ち越されます。記録用紙の A 期の第 20 行目に記入した A 期の期末の利得を B 期の 0 行目に書き写します。

[利得表への記入]

([取引の開始]~[取引の終了]までを繰り返すことにより、B 期の取引を行う。B 期の取引の終了後に以下のアナウンスを行う。)

以上で、第○年の取引が終了しました。B 期の取引の終了後に記入した期末の利得が「年

末の利得」となります。第 20 行目に記入した期末の利得を第 21 行目の年末の利得に書き写してください。また、記録用紙 B 期第 21 行目の「年末の利得」を別紙の利得表の該当する年の「利得」の欄に書き写してください。

([記録用紙の配布]～[利得表への記入]を繰り返すことにより、各年の取引を行う。あらかじめ決めておいた年数の取引が終了した時点で実験が終了する。利得表の各年の利得の合計を利得表第 15 行目の「利得合計」の欄に記入させる。)

この年の取引をもって本実験は終了します。利得表の各年の利得を足し合わせ、第 15 行目の「利得合計」の欄にその合計額を記入してください。

実験 14.A 実験台本

これから実験を始めます。

[席順の決定](ペアが近くに座れるようにする)

まず席順を決めます。順番に前に来て、くじを引いて下さい。引いた番号の席がどこに書いてあるかは黒板に書いてあるとおりです。自分の席が決まったら荷物を持ってその席に移動して下さい。

(くじを作成するのが面倒な場合、トランプのカードを使用する。買い手はダイヤとハート、売り手はスペードとクラブとする。ID はダイヤの 1 から 13 を A1-A13, ハートの 1 から 13 を A14-A26 とし、スペードの 1 から 13 を B1-B13、クラブの 1 から 13 を B14-B26 とする。)

[実験説明書の配布]

(実験説明書を、該当の席の参加者に配布する)

それでは、今日の実験の説明書を配布します。配られたら、氏名、学籍番号、ID、役割を記入して下さい。

[実験説明]

(本書付録の実験説明書を読み上げる)

[実験の開始]

それでは実験を開始します。役割 A の人は選択肢を 1 つ選び、役割 B の人に提示して下さい。提示の後、2 人で配分について交渉して下さい。2 分以内に配分を確定させて下さい。確定後、教員の所に最初に選ばれた選択肢、最終的な配分額を報告しに来て下さい。報告が早く終わったペアは静かに待っておいて下さい。

(時計やストップウォッチで時間を計りながら、適宜時間経過を教える)

では、これで 1 回目の交渉終了です。まだ報告していないペアは教員の所に報告に来て下さい。

2 回目が始まる前に、ペアをランダムに組み直します。教員の指示に従って席を移動して下さい。

(以下同様にして、2 回目以降の取引を行う)

(ペアを変更するときは以下の台詞を用いる)

最後の数回はペアを固定して実験を行います。今回選ばれたペアで最後まで実験を行います。

実験 15.A 実験台本

これから実験を始めます。

[席順の決定]

(4人が同じテーブルに座るか、互いに近い席に座るようにする)

まず席順を決めます。順番に前に来て、くじを引いてください。引いた番号の席がどこであるかは黒板に書いてある通りです。自分の席が決まったら、その席に移動してください。

(くじを作成するのが面倒な場合、トランプのカードを使用する。各数字がグループ No. を意味するものとする。ID はスペード、ハート、ダイヤ、クラブの順に S, H, D, C とする。)

[実験説明書の配布]

(あらかじめグループ No. と ID が記された実験説明書を、該当の席の参加者に配布する)

それでは、今日の実験の説明書を配布します。配られたら、実験記録用紙に書かれたグループ No. と ID が自分に割り当てられたものと同一であるかチェックしてください。

[実験説明]

(本書付録の実験説明書を読み上げる)

[実験の開始]

それでは実験を開始します。

実験記録用紙の「1回目」の欄を見てください。その「プロジェクトへの投資額」欄にあなたの投資額を記入してください。他の欄はまだ記入しないでください。

(全員が記入を終えたところで、実験記録用紙を回収する。回収の際に記入漏れや記入間違いがないかチェックする)

それでは、各グループの結果を集計するまでの間、静かに待っていてください。

(実験記録用紙をグループ毎にまとめて、グループ全員の投資額合計を計算する。計算が終わったら、グループ毎にその値を黒板に書く。その後、実験記録用紙を各参加者に返す)

各グループの投資額合計はこのようになりました。実験記録用紙の「グループ全員の投資額合計」欄に自分のグループの値を記入してください。その後、実験説明書に書いてある公式を使って自分の利得を計算し、実験記録用紙の「利得」欄にその数値を記入してください。これで1回目の実験は終了です。

(以下同様にして、2回目以降の実験を行う)